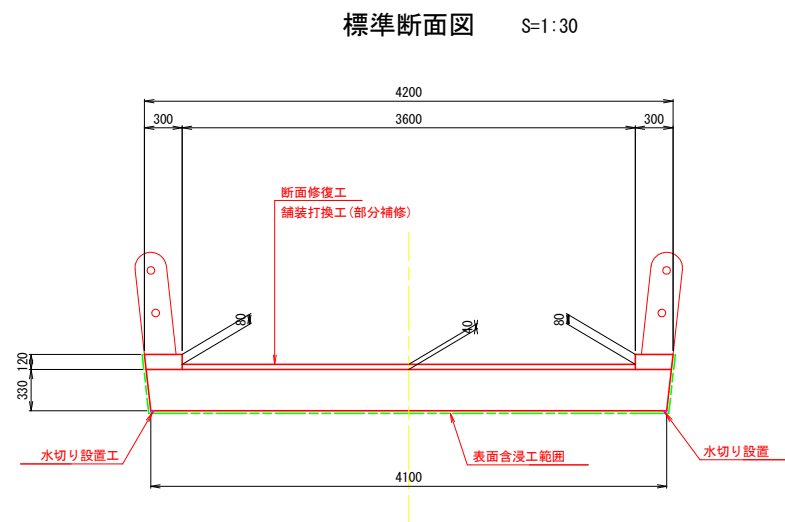
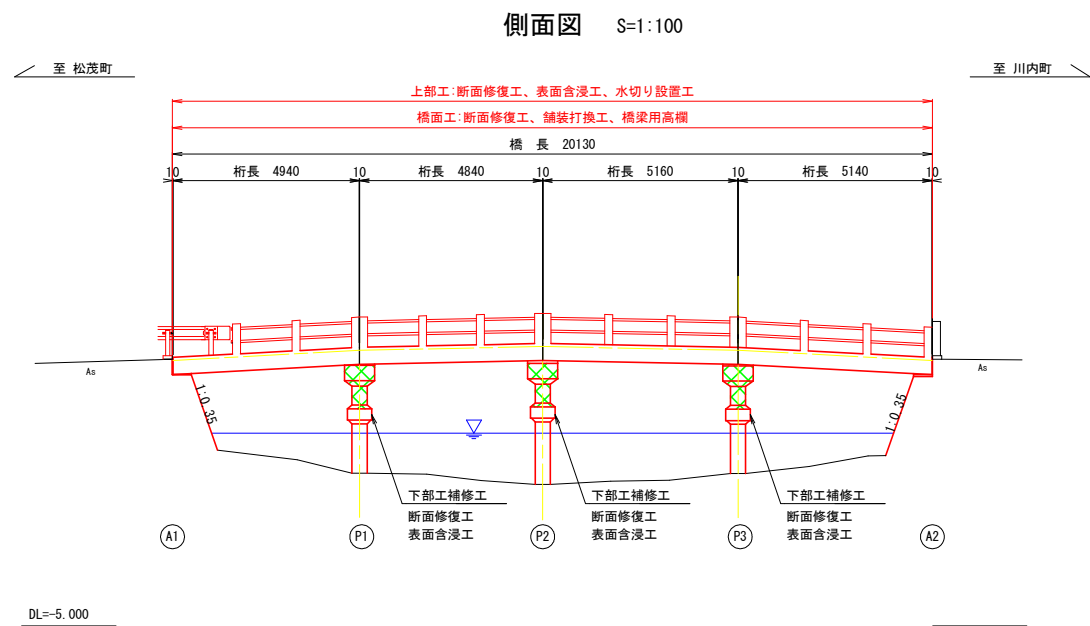
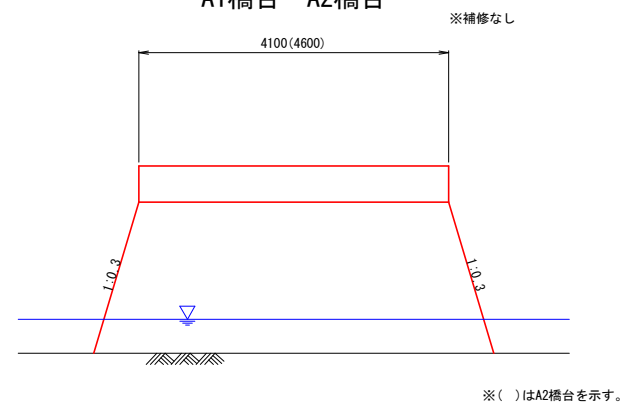


大正橋 補修一般図

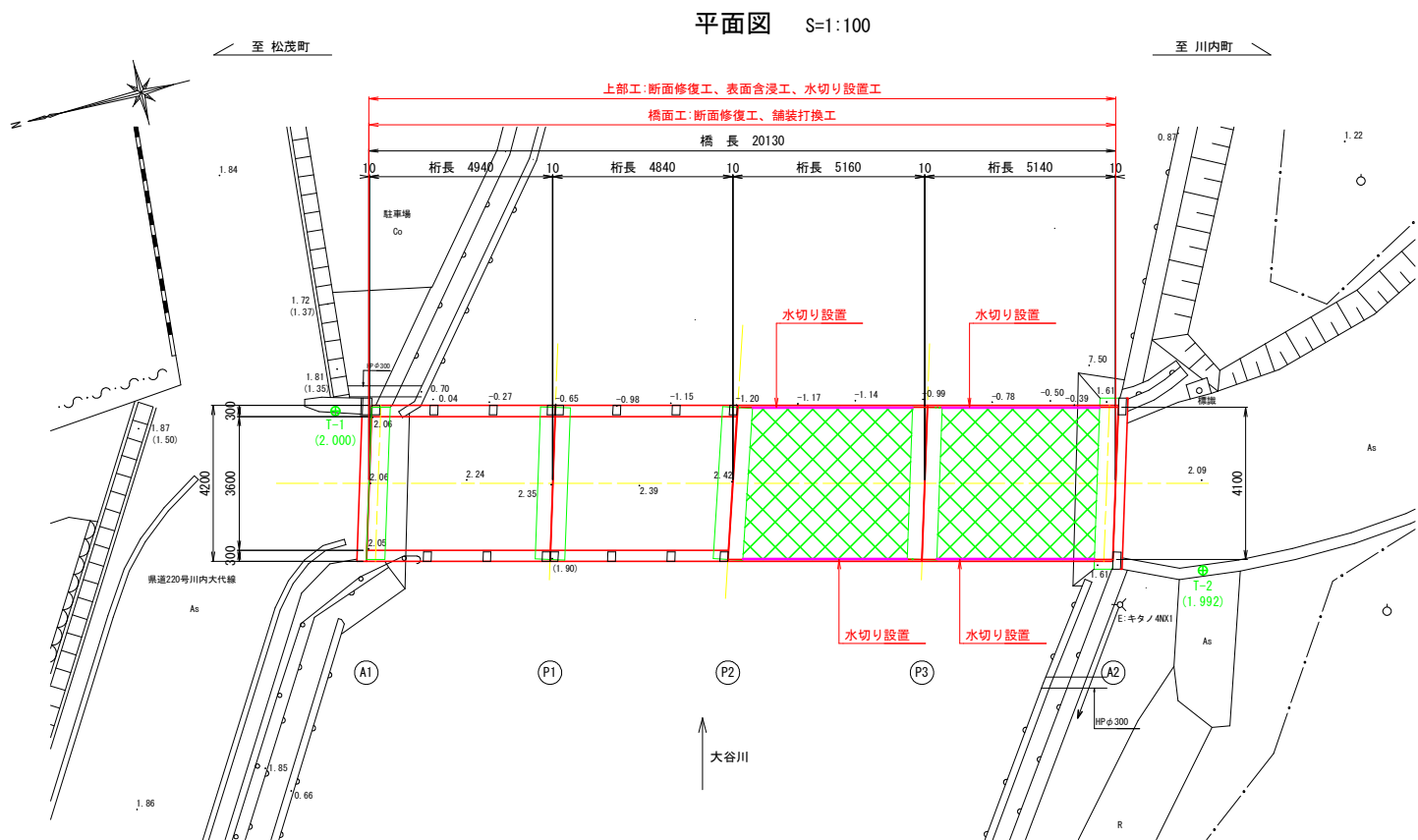
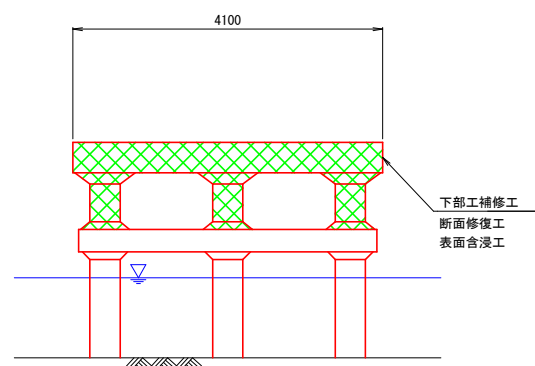


下部工正面図 S=1:50

A1橋台・A2橋台



P1橋脚～P3橋脚



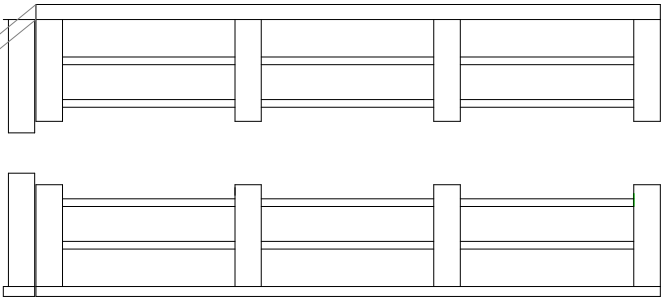
実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～ 鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	坂野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

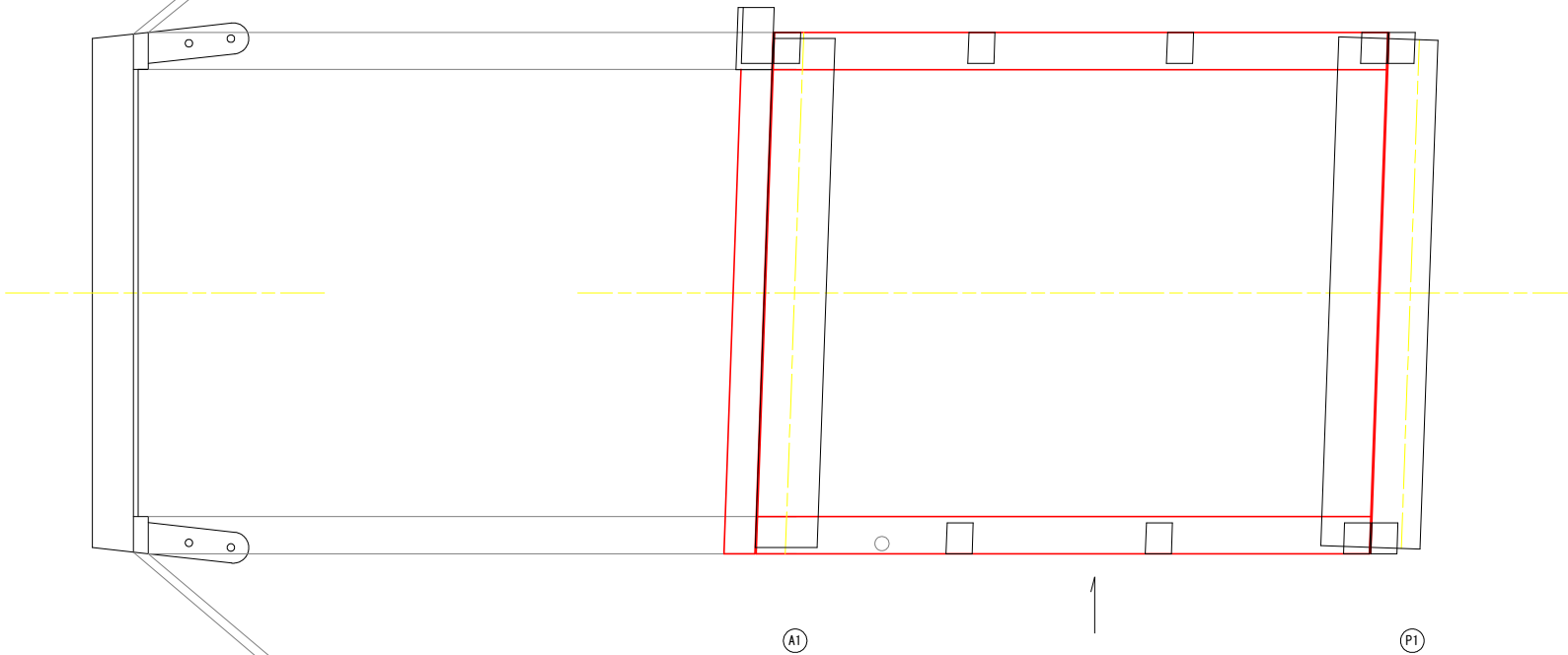
大正橋 上部工補修図(その1)

S=1:30

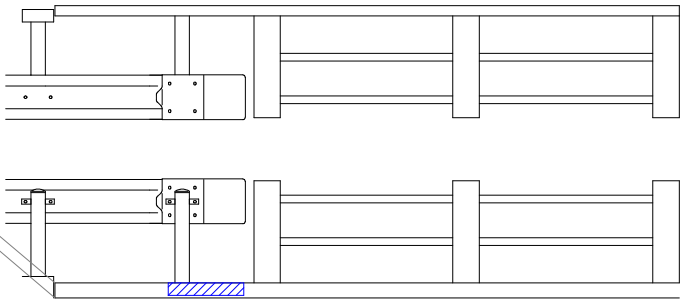
橋面A1-P1
側面図(下流側)



平面図



側面図(上流側)



P1
0.10×0.60

凡 例

補修の種類	図面表示
断面修復工	

断面修復工

測点	寸法 (m)	面積 (m2)
P1	0.10 × 0.60	0.060
合計		0.060 m2

実施設計図面

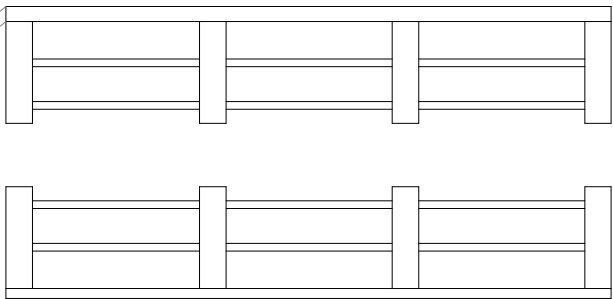
工事名	R 8 鳴土 川内大代線（大正橋）松・中喜来～ 鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間（大正橋）		
図面名	上部工補修図（その1）		
縮尺	1:30	図面番号	2 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

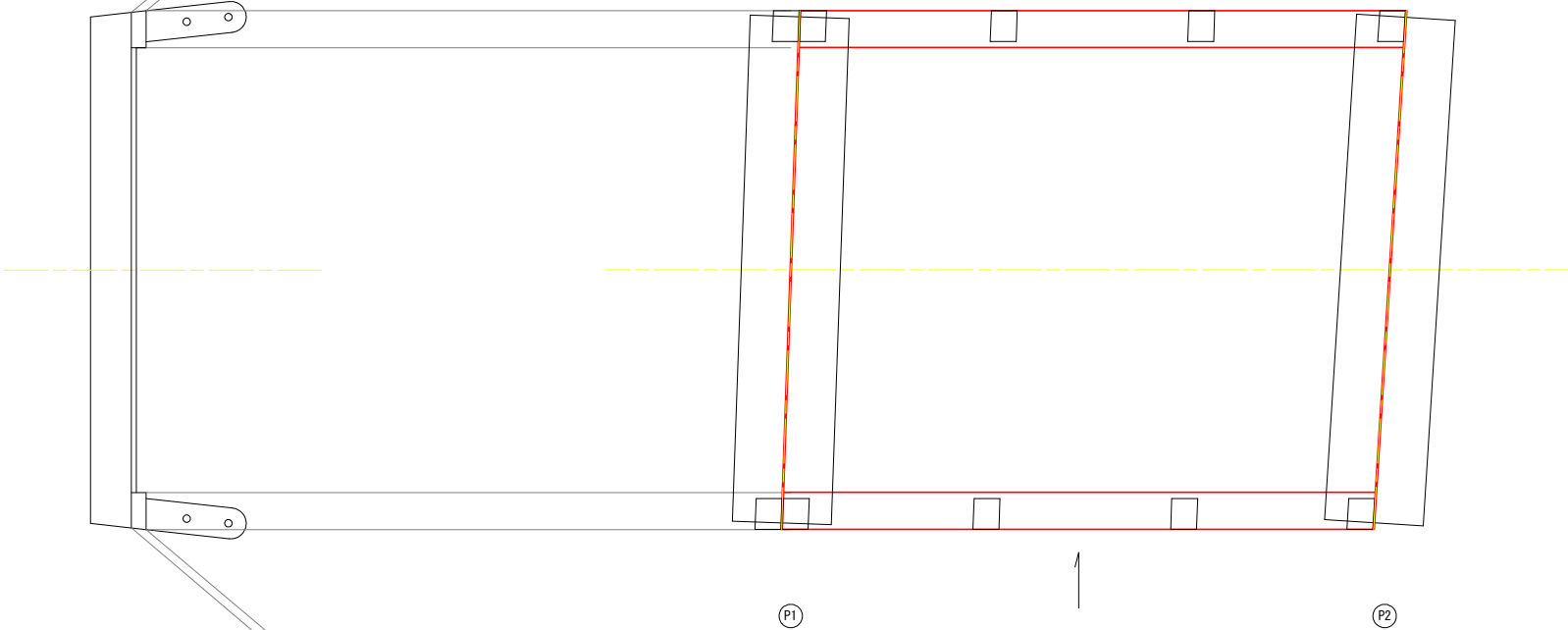
大正橋 上部工補修図(その2)

S=1:30

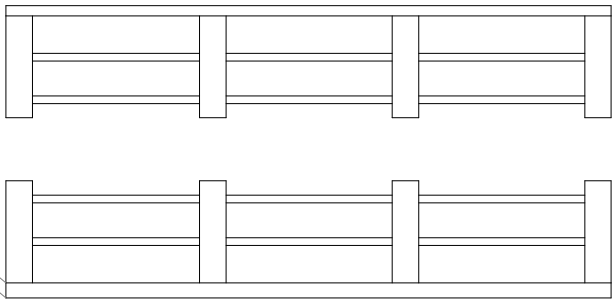
橋面P1-P2
※補修なし
側面図(下流側)



平面図



側面図(上流側)



実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～ 鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	上部工補修図(その2)		
縮尺	1:30	図面番号	3 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

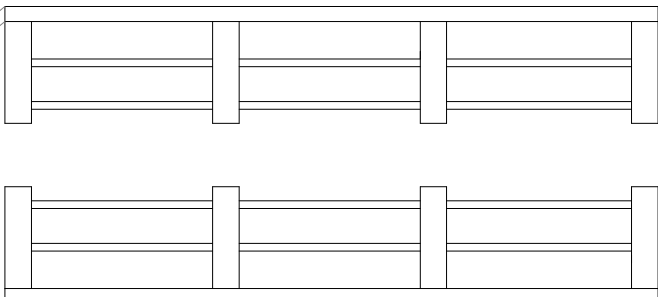
大正橋 上部工補修図(その3)

S=1:30

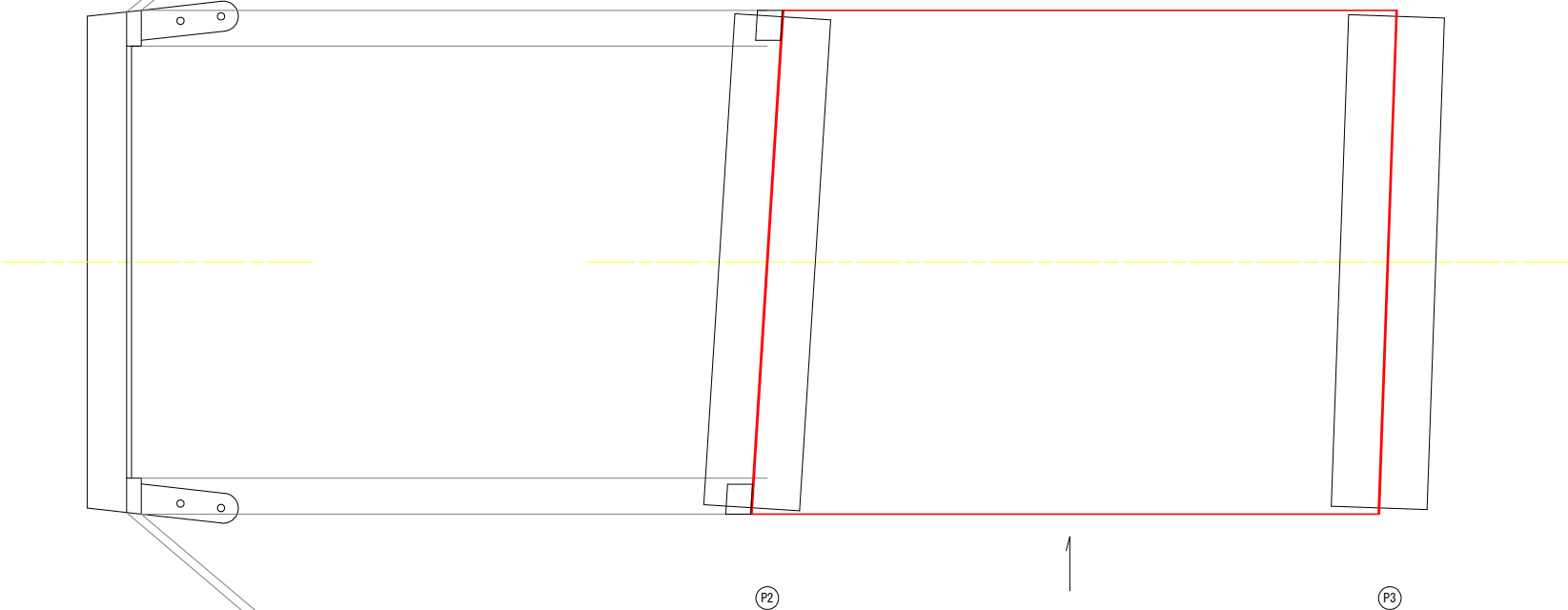
橋面P2-P3

※補修なし

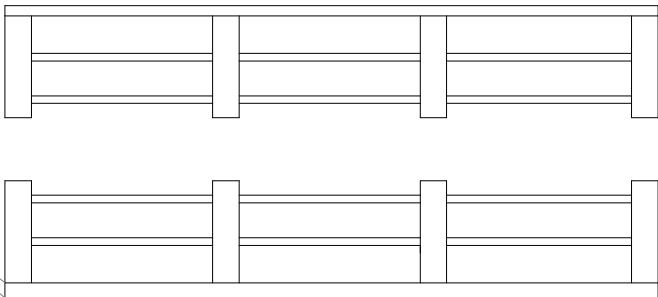
側面図(下流側)



平面図



側面図(上流側)



実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～ 鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間(大正橋)		
図面名	上部工補修図(その3)		
縮尺	1:30	図面番号	4 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

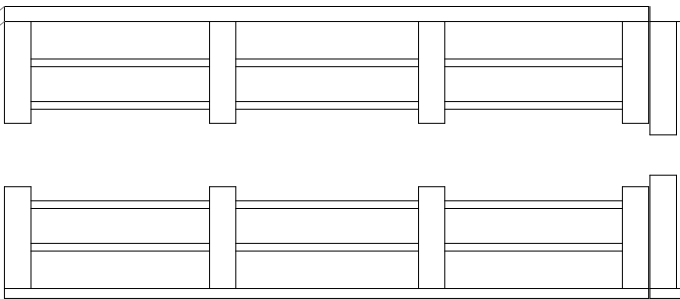
大正橋 上部工補修図(その4)

S=1:30

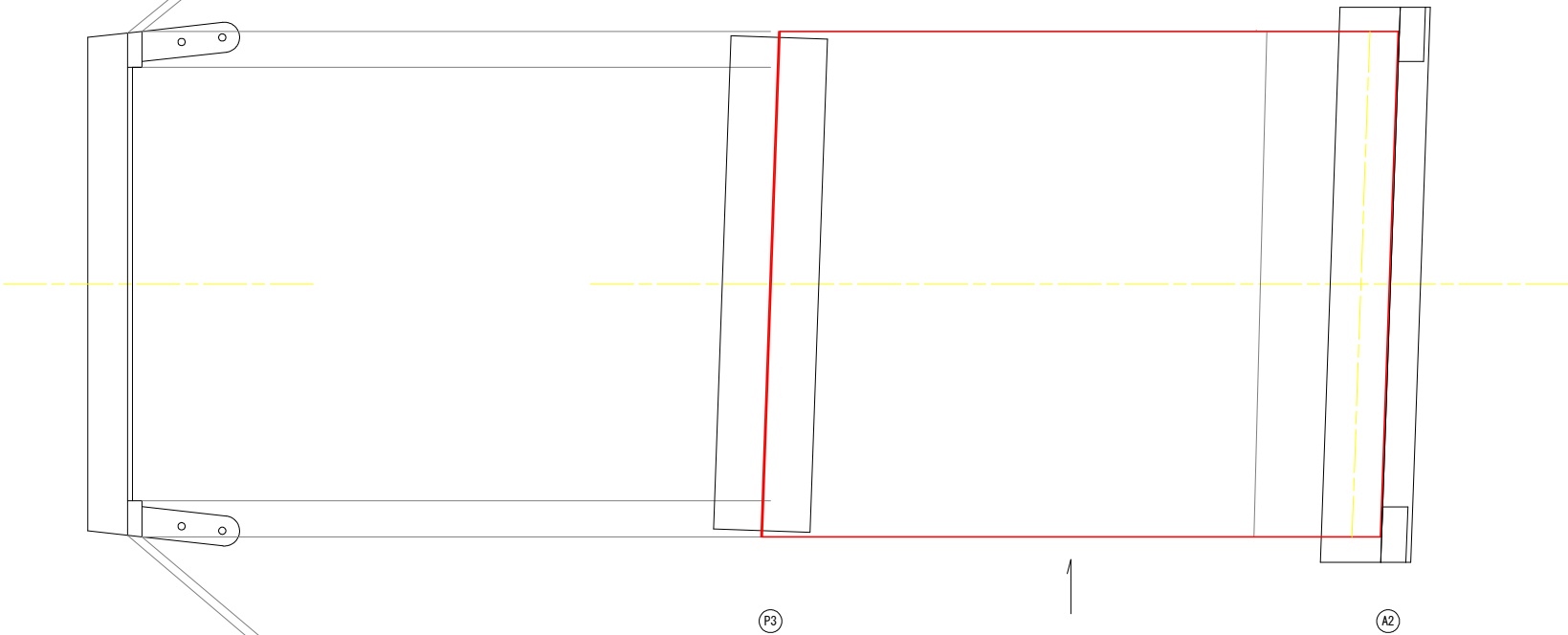
橋面P3-A2

※補修なし

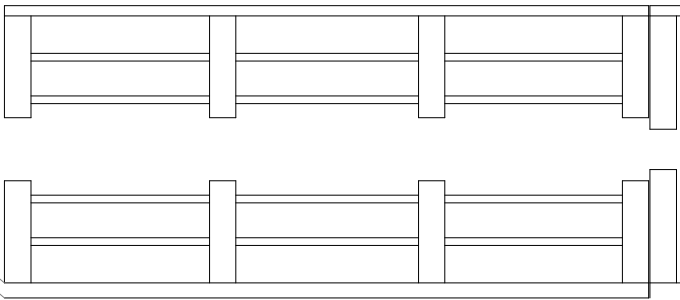
側面図(下流側)



平面図



側面図(上流側)



実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～ 鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間(大正橋)		
図面名	上部工補修図(その4)		
縮尺	1:30	図面番号	5 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

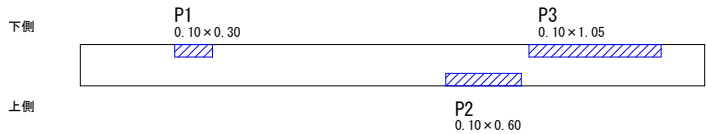
大正橋 上部工補修図(その5)

桁下A1-P1

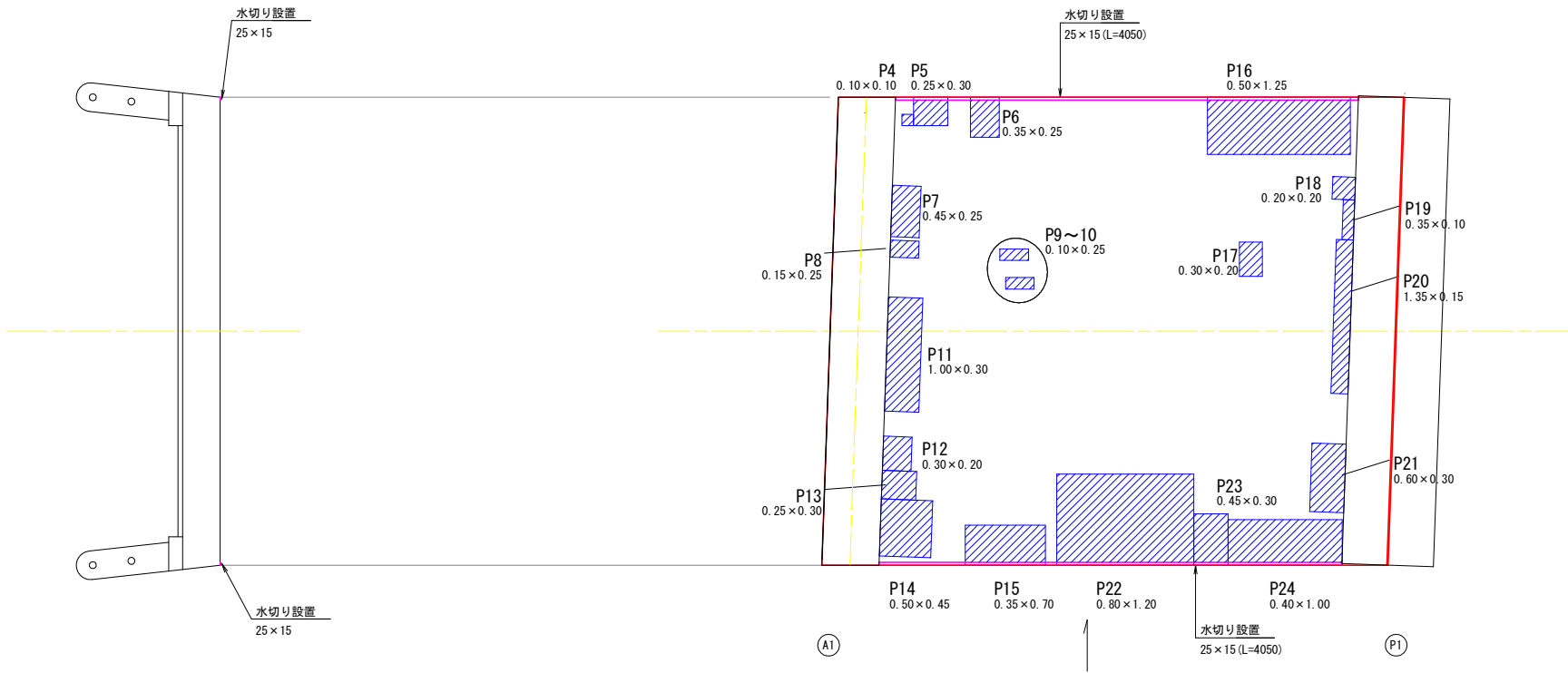
凡 例

補修の種類	図面表示
断面修復工	

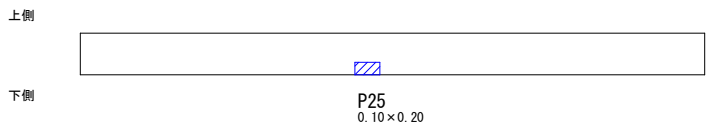
側面図(下流側) S=1:30



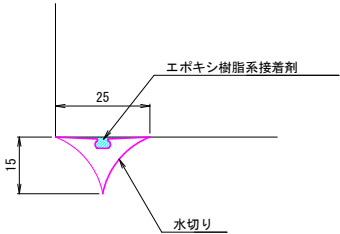
平面図



側面図(上流側)



水切り詳細図 S=1:1



断面修復工

測点	寸法 (m)	面積 (m2)
P1	0.10 × 0.30	0.030
P2	0.10 × 0.60	0.060
P3	0.10 × 1.05	0.105
P4	0.10 × 0.10	0.010
P5	0.25 × 0.30	0.075
P6	0.35 × 0.25	0.088
P7	0.45 × 0.25	0.113
P8	0.15 × 0.25	0.038
P9	0.10 × 0.25	0.025
P10	0.10 × 0.25	0.025
P11	1.00 × 0.30	0.300
P12	0.30 × 0.20	0.060
P13	0.25 × 0.30	0.075
P14	0.50 × 0.45	0.225
P15	0.35 × 0.70	0.245
P16	0.50 × 1.25	0.625
P17	0.30 × 0.20	0.060
P18	0.20 × 0.20	0.040
P19	0.35 × 0.10	0.035
P20	1.35 × 0.15	0.203
P21	0.60 × 0.30	0.180
P22	0.80 × 1.20	0.960
P23	0.45 × 0.30	0.135
P24	0.40 × 1.00	0.400
P25	0.10 × 0.20	0.020
合計		4.132 m2

実施設計図面

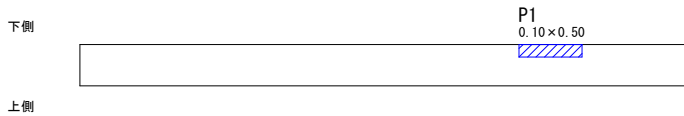
工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	上部工補修図 (その5)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

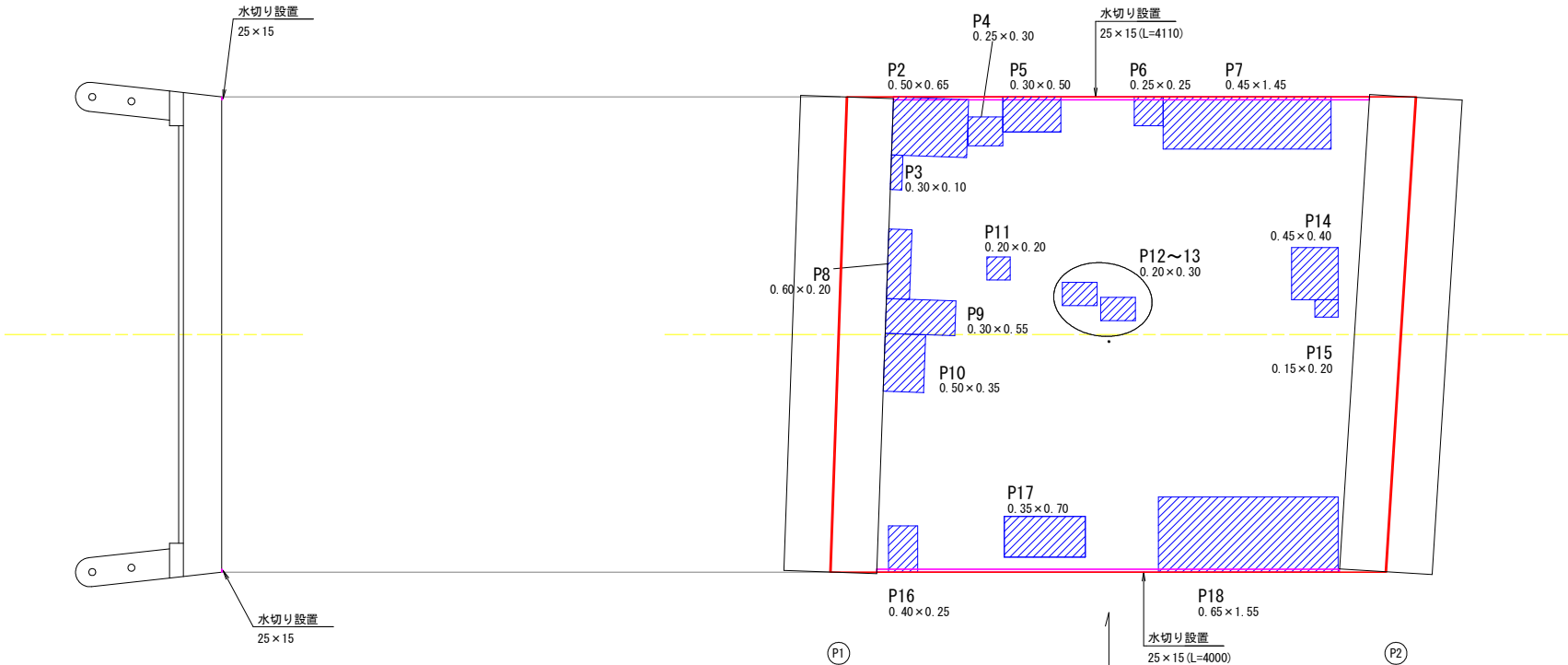
大正橋 上部工補修図(その6)

桁下P1-P2

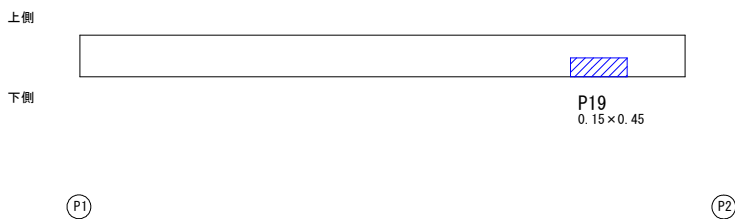
側面図(下流側) S=1:30



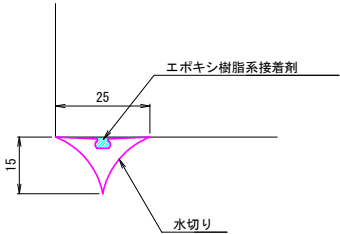
平面図



側面図(上流側)



水切り詳細図 S=1:1



凡 例

補修の種類	図面表示
断面修復工	

断面修復工

測点	寸法 (m)		面積 (m2)
P1	0.10	× 0.50	0.050
P2	0.50	× 0.65	0.325
P3	0.30	× 0.10	0.030
P4	0.25	× 0.30	0.075
P5	0.30	× 0.50	0.150
P6	0.25	× 0.25	0.063
P7	0.45	× 1.45	0.653
P8	0.60	× 0.20	0.120
P9	0.30	× 0.55	0.165
P10	0.50	× 0.35	0.175
P11	0.20	× 0.20	0.040
P12	0.20	× 0.30	0.060
P13	0.20	× 0.30	0.060
P14	0.45	× 0.40	0.180
P15	0.15	× 0.20	0.030
P16	0.40	× 0.25	0.100
P17	0.35	× 0.70	0.245
P18	0.65	× 1.55	1.008
P19	0.15	× 0.45	0.068
合計			3.597 m2

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	坂野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	上部工補修図(その6)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

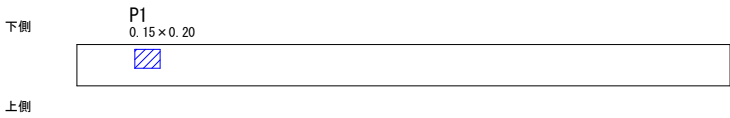
大正橋 上部工補修図(その7)

桁下P2-P3

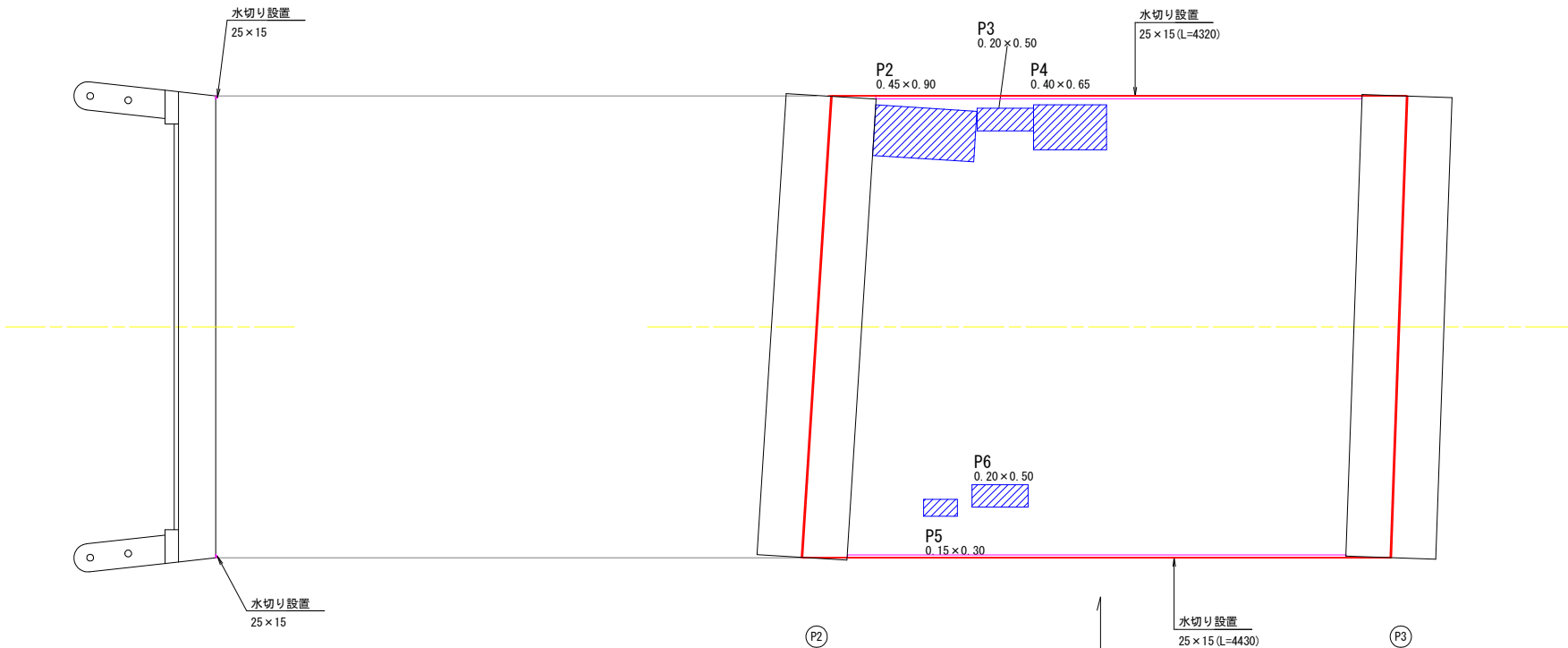
側面図(下流側) S=1:30

凡 例

補修の種類	図面表示
断面修復工	



平面図

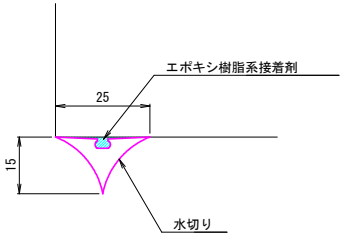


断面修復工

測点	寸法 (m)	面積 (m2)
P1	0.15 × 0.20	0.030
P2	0.45 × 0.90	0.405
P3	0.20 × 0.50	0.100
P4	0.40 × 0.65	0.260
P5	0.15 × 0.30	0.045
P6	0.20 × 0.50	0.100
P7	0.10 × 0.05	0.005
合計		0.945 m2

側面図(上流側)

水切り詳細図 S=1:1



実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来 鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	上部工補修図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

大正橋 上部工補修図(その8)

桁下P3-A2

側面図(下流側) S=1:30

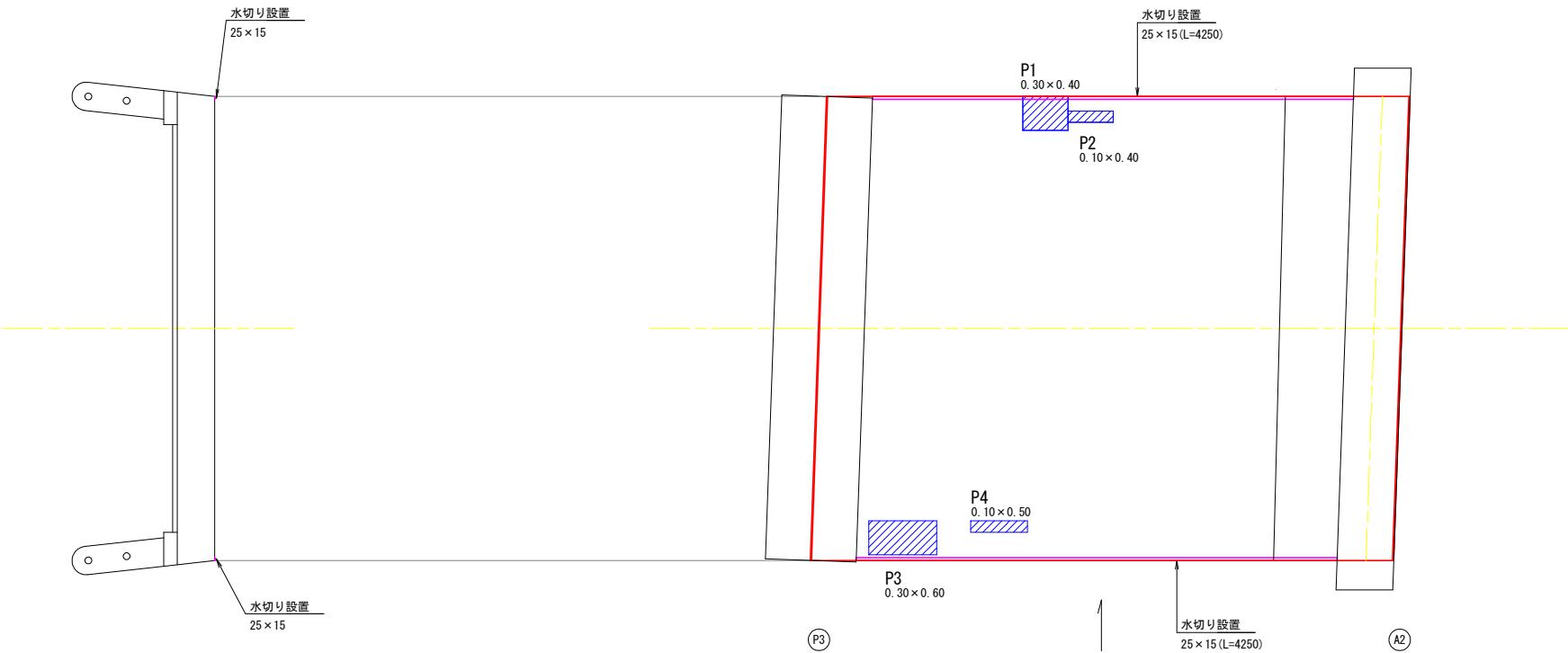
凡 例

補修の種類	図面表示
断面修復工	

下側

上側

平面図

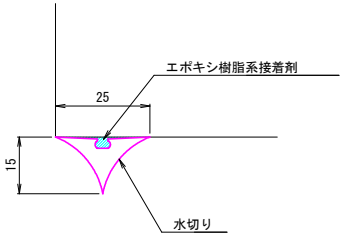


断面修復工

測点	寸法 (m)			面積 (m2)
P1	0.30	×	0.40	0.120
P2	0.10	×	0.40	0.040
P3	0.30	×	0.60	0.180
P4	0.10	×	0.50	0.050
P5	0.10	×	0.05	0.005
P6	0.10	×	0.10	0.010
合計				0.405 m2

側面図(上流側)

水切り詳細図 S=1:1



上側

下側

P3

A2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間(大正橋)		
図面名	上部工補修図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

表面含浸工

補修の種類	図面表示
表面含浸工	

Technical drawing of a bridge deck cross-section. The drawing shows four lanes, each filled with green hatching. The total width of the bridge deck is 20130. The lane widths are 4940, 4840, 5160, and 5140. The height of the bridge deck is 4100. The drawing includes section markers A1, P1, P2, P3, and A2 along the bottom. The drawing also shows the dimensions of the bridge deck, including the width of the lanes and the total width of the bridge deck.

Technical drawing of a rectangular structure with dimensions and a note. The drawing shows a top-down view of a rectangular object with a central horizontal slot. The overall width is 4200, and the overall height is 4100. The central slot has a width of 3600 and a height of 453. The side flaps have a width of 300. The drawing includes a yellow dashed line indicating the centerline and a green line indicating the surface immersion range. A note at the bottom right states: 表面含浸工範圍 L=5,006mm.

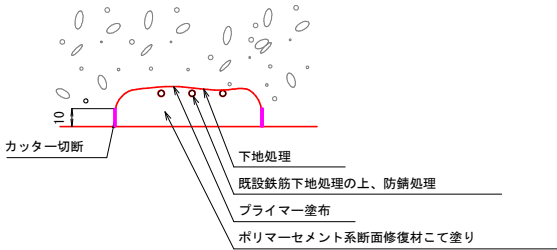
工事名	R8鳴土 川内大代線（大正橋）松・中喜来 鳴・段岡 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	坂野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段岡（大正橋）		
図面名	上部工補修図（その9）		
縮尺	図示	図面番号	10 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土木整備事務所 鳴門支所		

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

大正橋 補修標準図

断面修復工

(ポリマーセメントモルタル)



※ 施工手順

- 1 カッター切断
- 2 コンクリートはつり
- 3 下地処理
- 4 鉄筋防錆処理
- 5 プライマー塗布
- 6 断面修復材こて塗り

※ 注

1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。

2. 使用材料

断面修復材

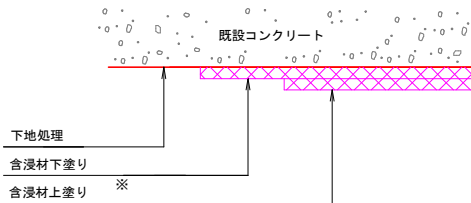
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

力 学 的 性 能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること 設計基準強度以上
	プレストレストコンクリート 50N/mm2
	鉄筋コンクリート 24N/mm2
	無筋コンクリート 18N/mm2
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.0N/mm2以上)

3. 塗り重ねについては一層あたり30mmを目安とする。

表面含浸工

(シラン・シロキサン系表面含浸材)



※ 施工手順

- 1 下地処理および清掃工
- 2 下塗り：含浸材下塗
- 3 上塗り：含浸材上塗
(※ 1回塗りの場合は省略)
- 4 養生

※ 注

1. (社)土木学会 コンクリートライブラリー表面保護工法 設計施工指針(案) (第5章 施工P38～)に準拠する。

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～ 鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	坂野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	補修標準図		
縮尺	-	図面番号	11 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

大正橋 橋面補修図

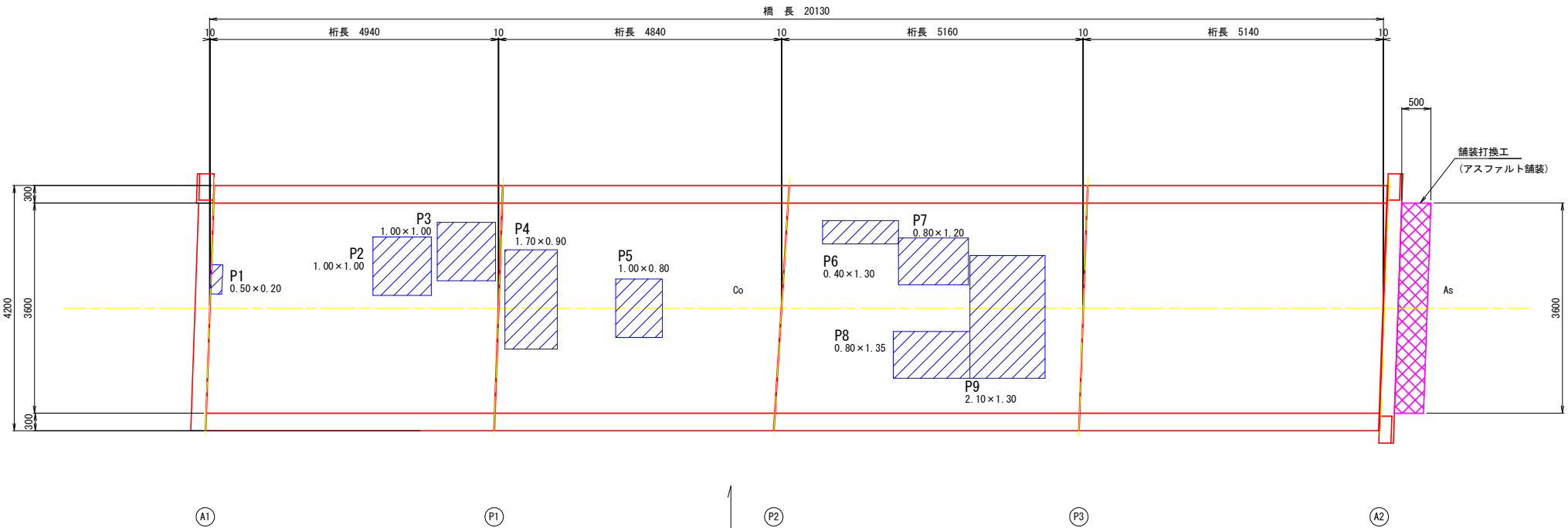
舗装工

凡 例

補修の種類	図面表示
断面修復工	

平面図

S=1:50

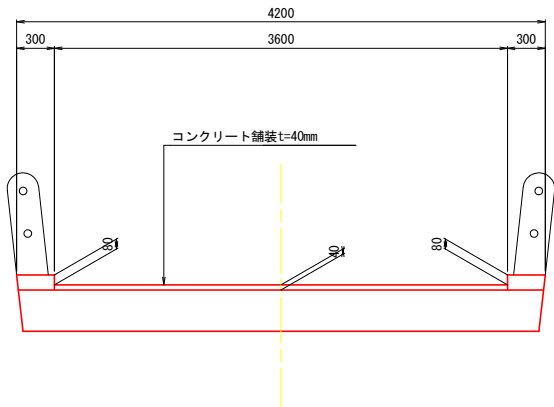


舗装補修
断面修復工

測点	寸法 (m)	面積 (m2)
P1	0.50 × 0.20	0.100
P2	1.00 × 1.00	1.000
P3	1.00 × 1.00	1.000
P4	1.70 × 0.90	1.530
P5	1.00 × 0.80	0.800
P6	0.40 × 1.30	0.520
P7	0.80 × 1.20	0.960
P8	0.80 × 1.35	1.080
P9	2.10 × 1.30	2.730
合計		9.720 m2

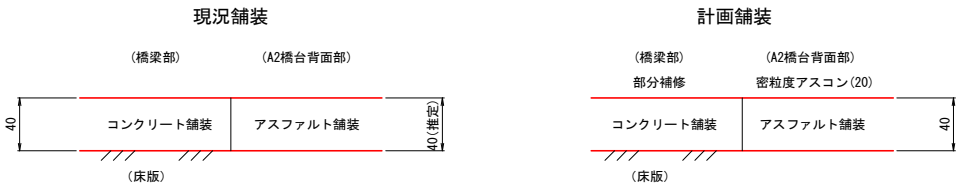
標準断面図

S=1:30



舗装構成図

S=1:5



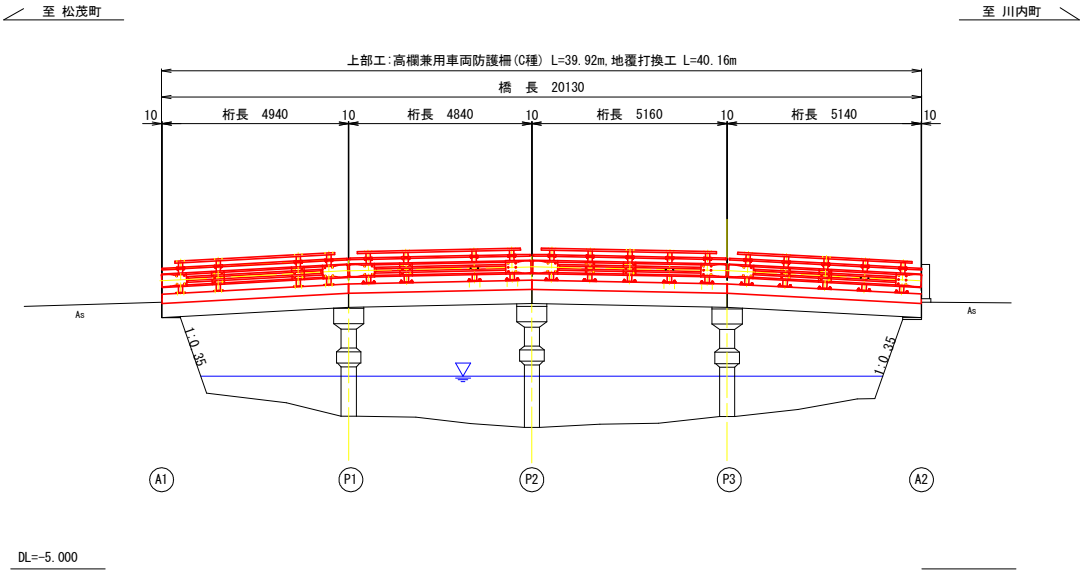
実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	坂野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	橋面補修図		
縮尺	図示	図面番号	12 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

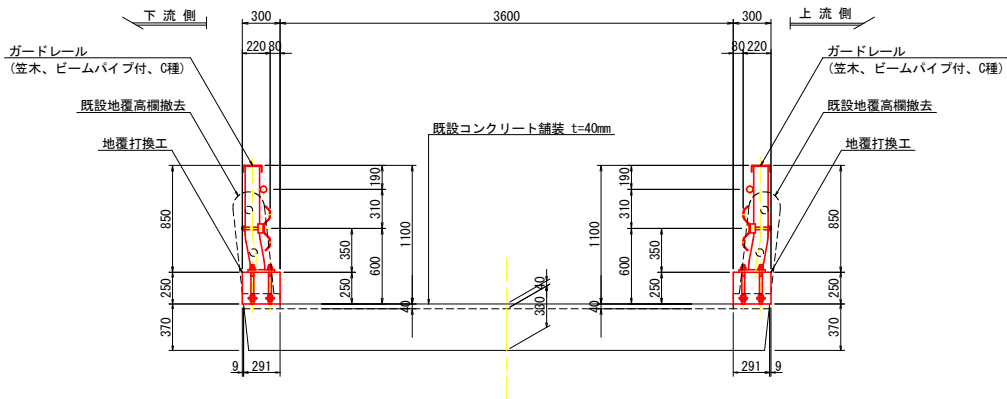
1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

大正橋 高欄補修一般図

側面図 S=1:100

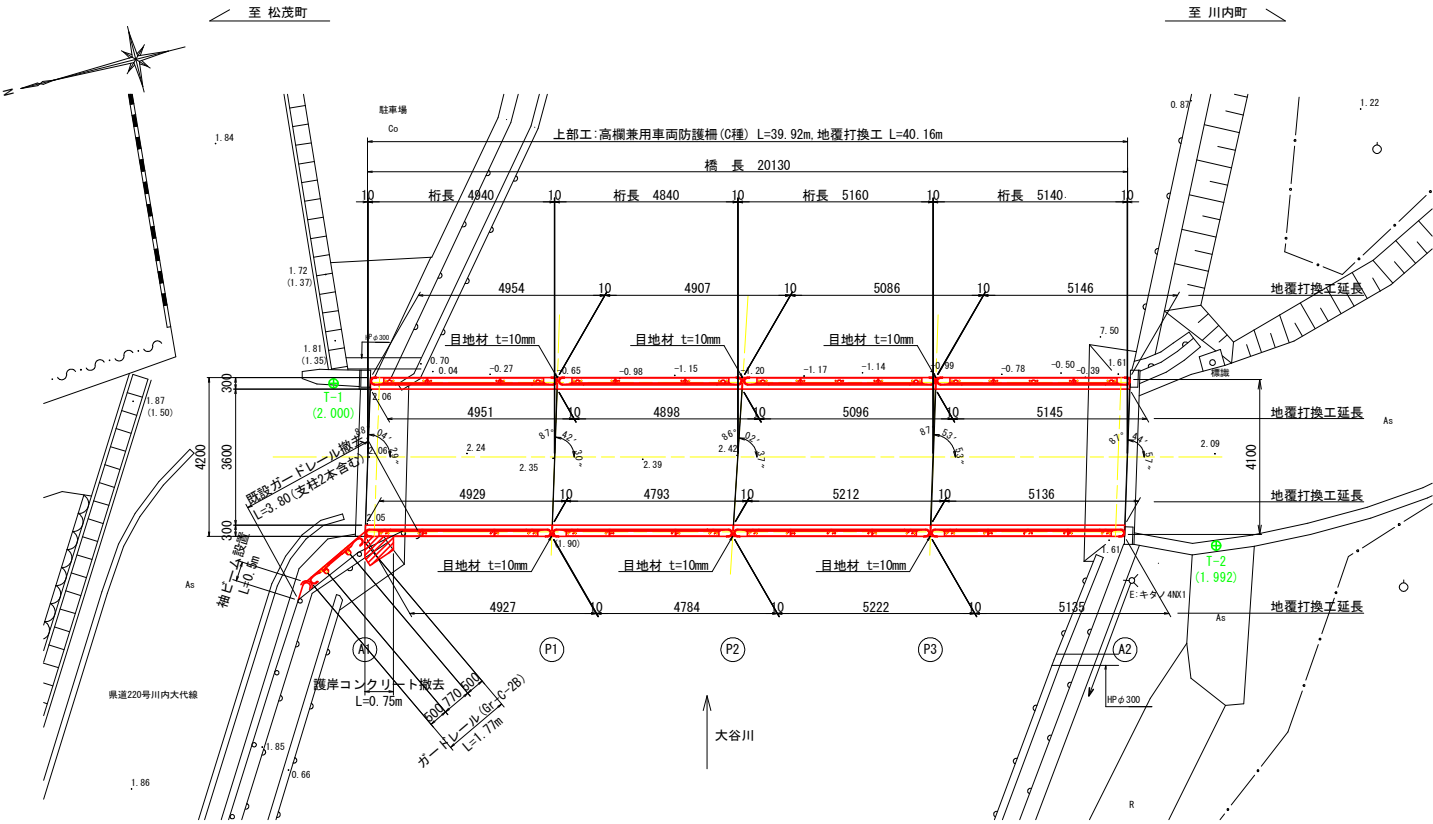


上部工断面図 S=1:30



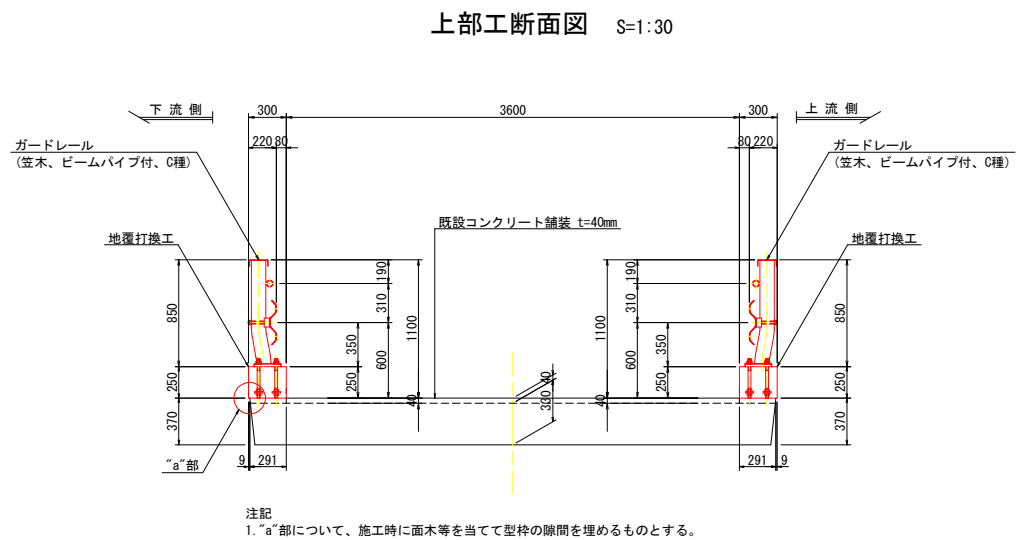
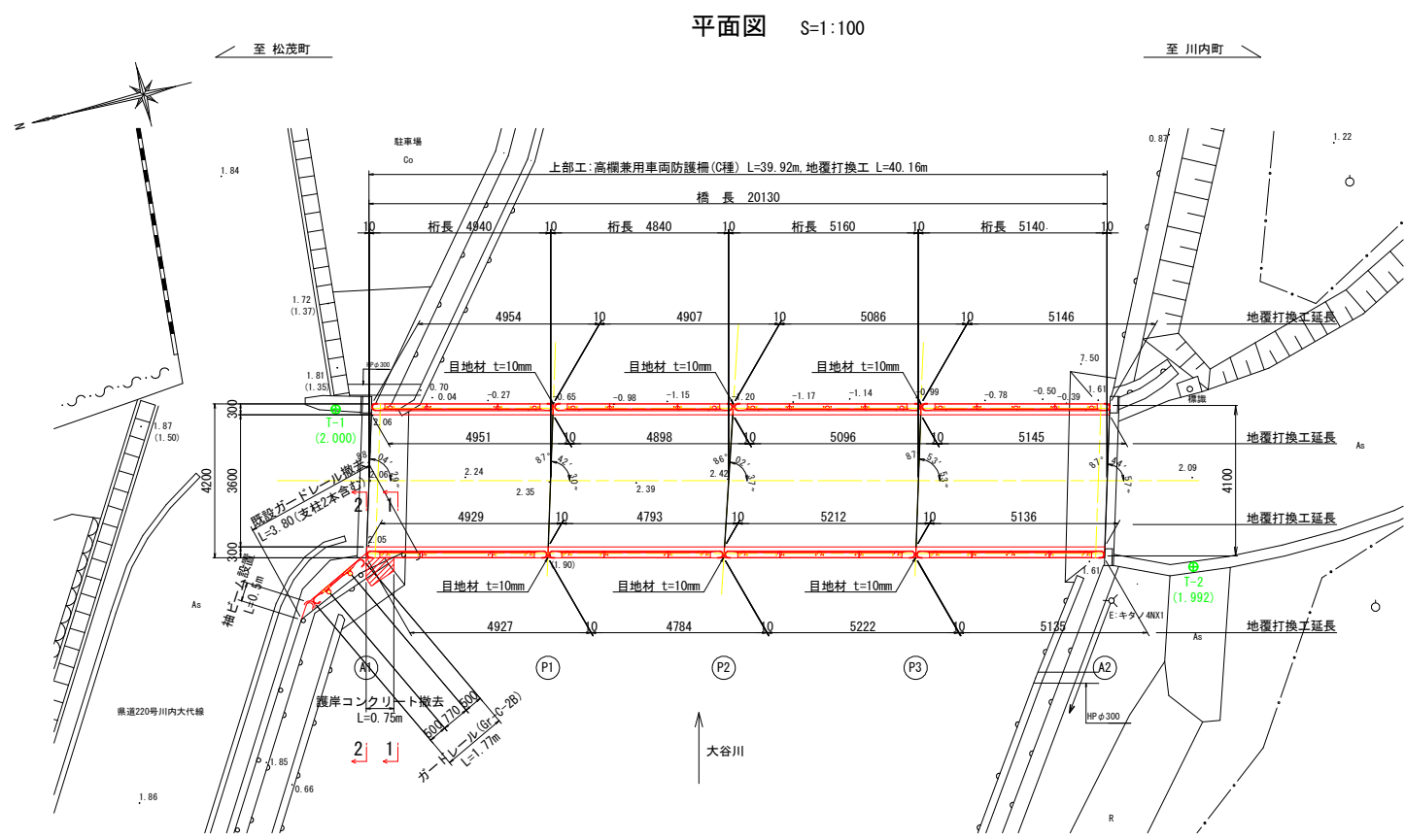
大正橋	
橋 格	2等橋 (T-9) 復元設計による推定
橋 長	20.13m (道路中心線上)
幅 員	3.60m (車道：有効幅員)
斜 角	86° 02' 37" ~ 88° 04' 29"
施 工 年 度	昭和37年 (1962年)
施 工 形 式	上 部 工 RC床版橋
	下 部 工 重力式橋台、バイルベント橋脚

平面図 S=1:100

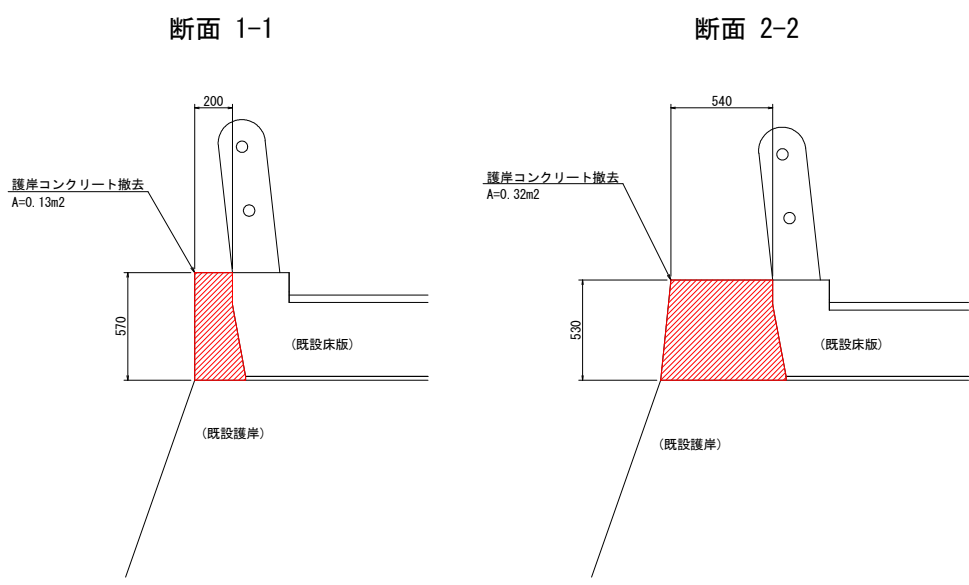


工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来~鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来~鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	大正橋 高欄補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	13 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

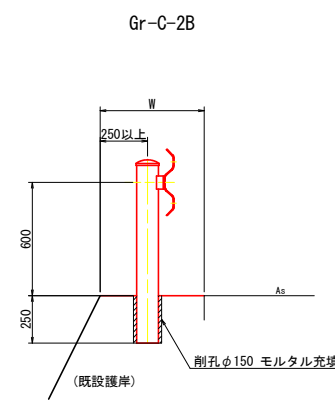
大正橋 地覆補修詳細図



護岸コンクリート撤去詳細図 S=1:20

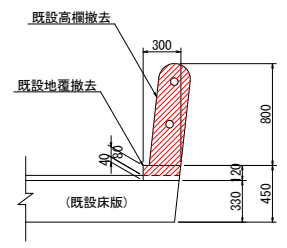
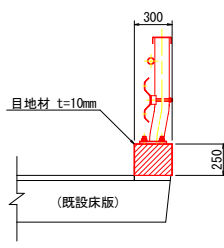


ガードレール詳細図 (護岸部) S=1:20

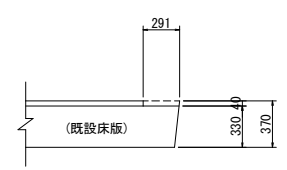


施工時断面図 S=1:30

目地材詳細図 S=1:30



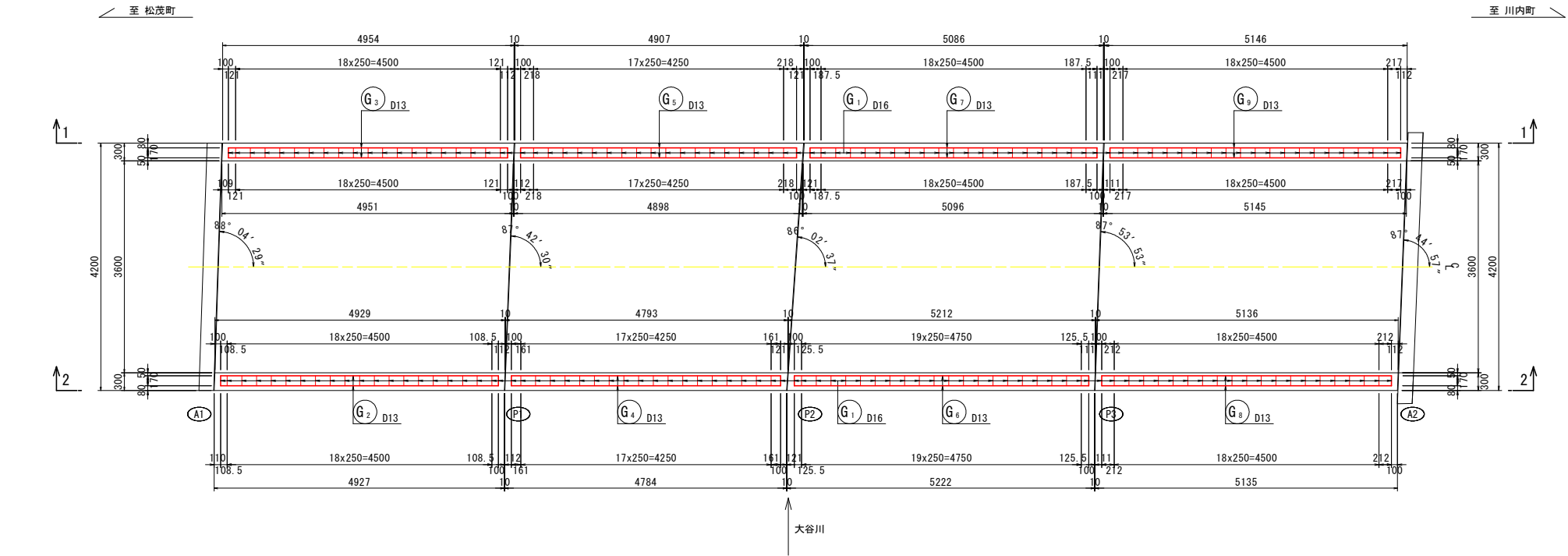
地覆撤去時断面



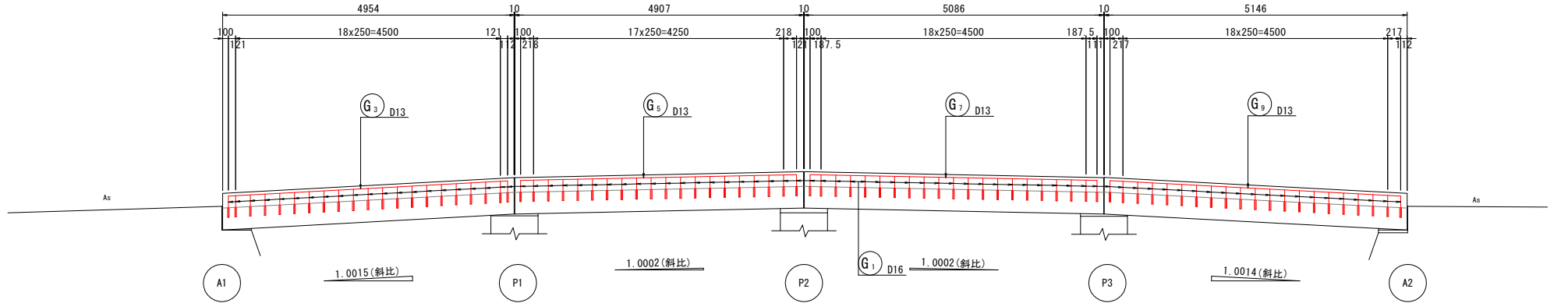
工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	大正橋 地覆補修詳細図		
縮尺	図示	図面番号	14 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

大正橋 地覆配筋図(その1)

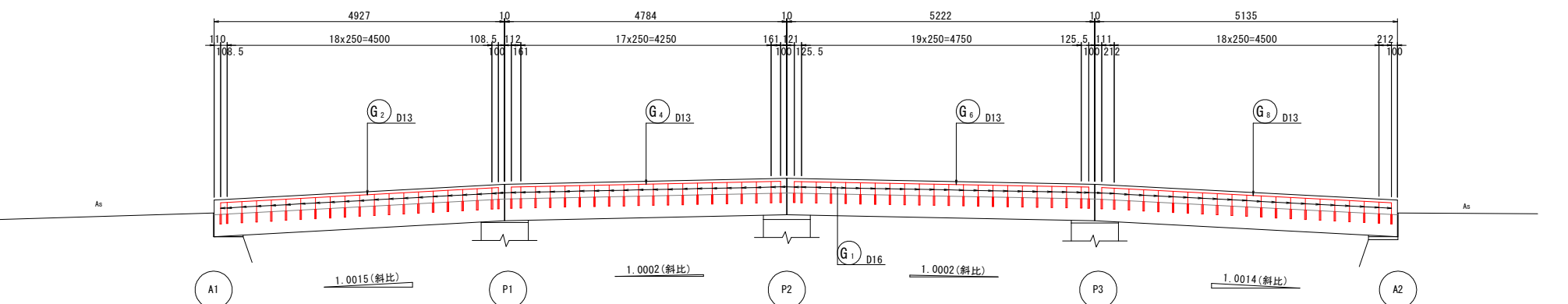
平面図 S=1:50



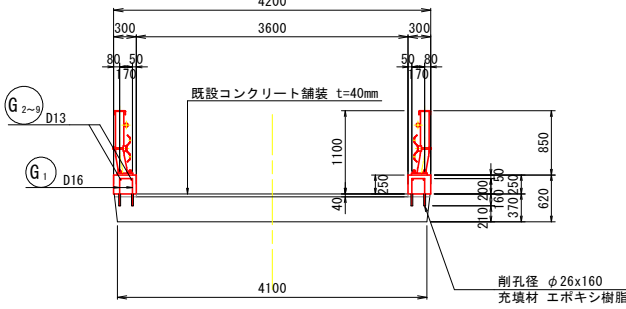
側面図(1-1) S=1:50



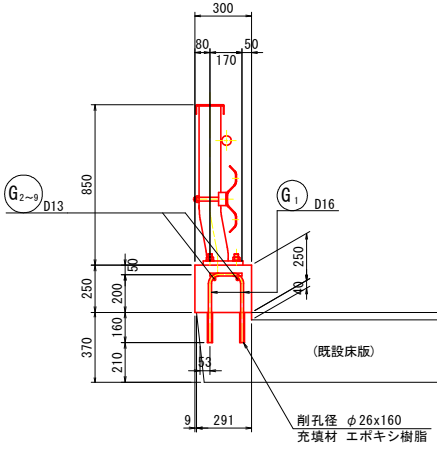
側面図(2-2) S=1:50



断面図 S=1:50



計画断面図 S=1:20

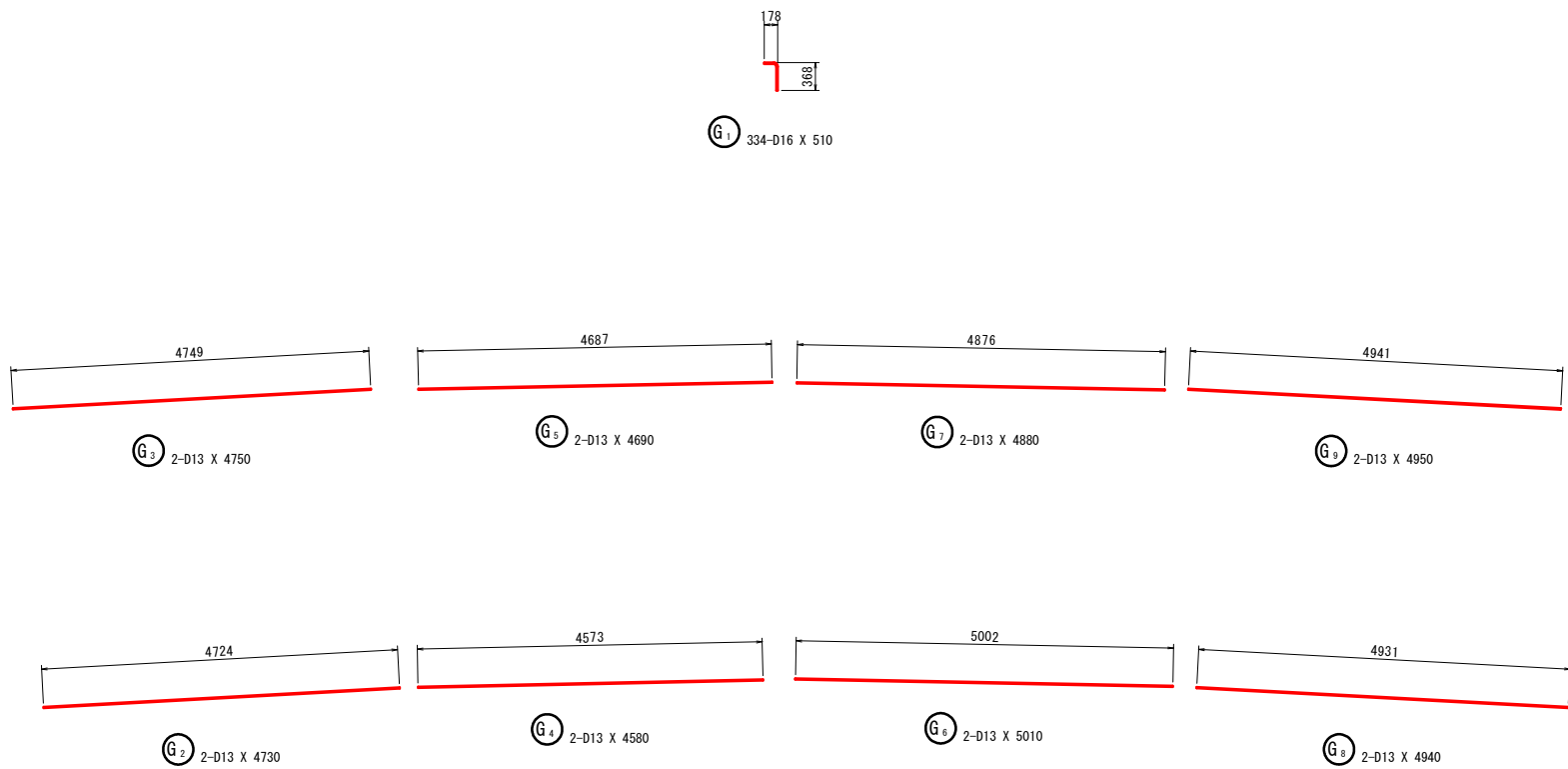


注記)
1. アンカー鉄筋が既設床版の鉄筋もしくは高欄アンカーに干渉した場合は、適宜位置をずらして対処すること。
2. 既設地覆鉄筋は切断処理とするが、切断位置は、打換え地覆の鉄筋組み立てに支障のない高さとし、ずれ止め筋として利用する。

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	大正橋 地覆配筋図 (その1)		
縮尺	図示	図面番号	15 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

大正橋 地覆配筋図(その2) S=1:50

鉄筋加工図



鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
G 1	D16	510	334	1.56	0.80	267	┐
G 2	D13	4730	2	0.995	4.71	9	—————
G 3	D13	4750	2	0.995	4.73	9	—————
G 4	D13	4580	2	0.995	4.56	9	—————
G 5	D13	4690	2	0.995	4.67	9	—————
G 6	D13	5010	2	0.995	4.98	10	—————
G 7	D13	4880	2	0.995	4.86	10	—————
G 8	D13	4940	2	0.995	4.92	10	—————
G 9	D13	4950	2	0.995	4.93	10	—————
343							
合 計				D16	267 kg		
				D13	76 kg		
総質量					343 kg		

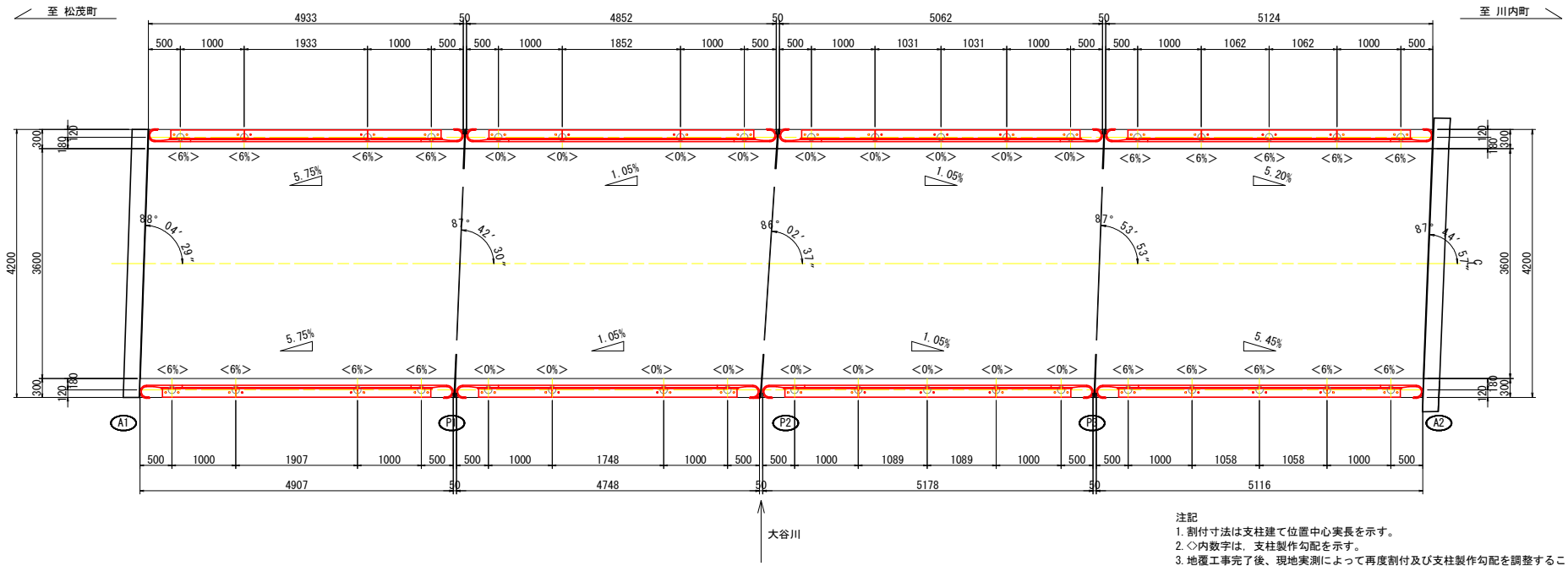
材 料 規 格	
コンクリート	$\sigma_{ck}=24 \text{ N/mm}^2$
鉄 筋	SD345

- 注記)
- アンカー鉄筋が既設床版の鉄筋もしくは高欄アンカーに干渉した場合は、適宜位置をずらして対処すること。
 - 既設地覆鉄筋は切断処理とするが、切断位置は、打換え地覆の鉄筋組み立てに支障のない高さとし、ずれ止め筋として利用する。

工事名	R 8 鳴土 川内大代線 (大正橋) 松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間 (大正橋)		
図面名	大正橋 地覆配筋図 (その2)		
縮尺	図示	図面番号	16 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		

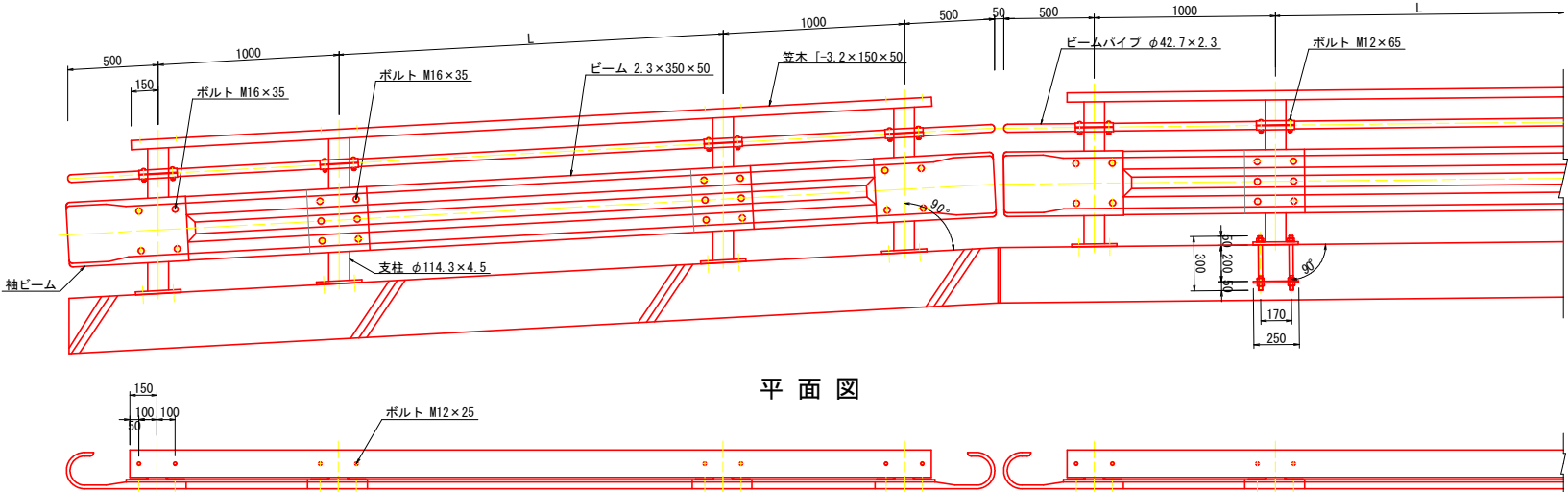
大正橋 高欄詳細図

割付図 S=1:50



組立図 S=1:20

側面図



平面図

部品図 S=1:20

ガードレールプレート

笠木伸縮継手部

ガードレール伸縮継手部

プレート詳細図

袖ビーム

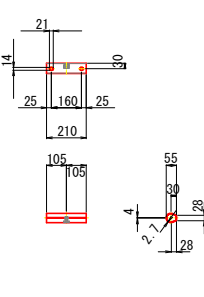
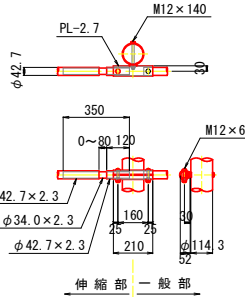
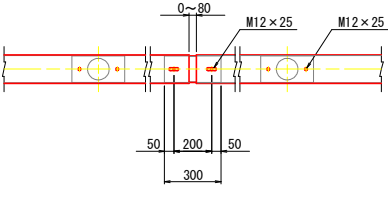
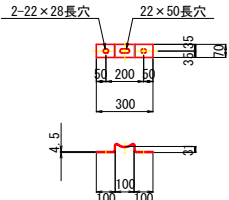
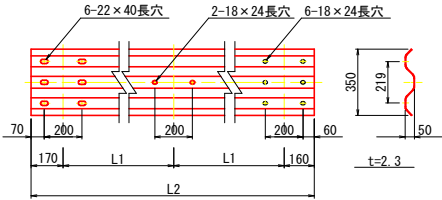
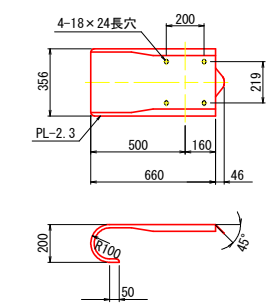
ビーム

ガードレール伸縮継手部

プレート詳細図

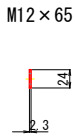
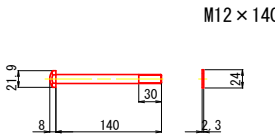
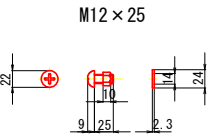
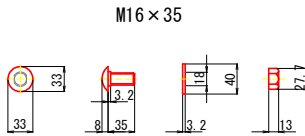
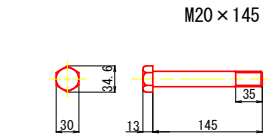
ガードレール伸縮継手部

プレート詳細図



取付ボルト S=1:5

注記
1. 笠木伸縮継手部は、参考に記載している。



工事名	R8鳴土 川内大代線（大正橋）松・中喜来～鳴・大津段間 橋梁修繕工事		
路線名等	川内大代線		
工事箇所	板野郡松茂町中喜来～鳴門市大津町段間（大正橋）		
図面名	大正橋 高欄詳細図		
縮尺	図示	図面番号	17 / 17
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所 鳴門支所		